

記者発表資料

霞ヶ浦最大の湿原「妙岐ノ鼻」で、 ヨシ焼きを行います！

「妙岐ノ鼻」（稲敷市浮島地先）は、面積約50haの霞ヶ浦最大のヨシ原です。

ヨシを主体とした多様な湿地環境では、貴重種19種含む300種以上の植物が確認され、その植物を生息環境として利用しているオオセッカやコジュリン等の貴重な鳥類も見られます。さらに猛禽類のチュウヒのねぐら入りが確認されるなど、とても貴重な環境が残されています。

また、古くから茅の採取場として利用され、現在も刈り取られた茅は、日本三名園の一つである水戸の偕楽園にある好文亭の茅葺き屋根にも使用されるなど、とても品質の高い茅が採れる貴重な場所となっています。

近年はヨシ焼きが中断されていましたが、昨年度より貴重な植物群落の質の低下が懸念されていることから、湿地環境の保全と伝統文化の継承を目的にヨシ焼きを再開しています。

実施日時：令和 2年 2月29日（土）9時から12時
（荒天時等の場合は、3月1日（日）・7日（土）に順延します。）

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・茨城県政記者クラブ
土浦記者クラブ・鹿島記者クラブ・千葉県政記者会・水資源記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所
副 所 長 小栗 幸雄（おぐり さちお）
湖沼環境課長 佐藤 礼二（さとう れいじ）
TEL0299-63-2411(代) FAX0299-62-4652

独立行政法人 水資源機構 利根川下流総合管理所
環 境 課 長 吉田 好浩（よしだ よしひろ）
TEL0299-79-3311(代) FAX0299-79-3316

妙岐ノ鼻（茅場）の一部をヨシ焼きします

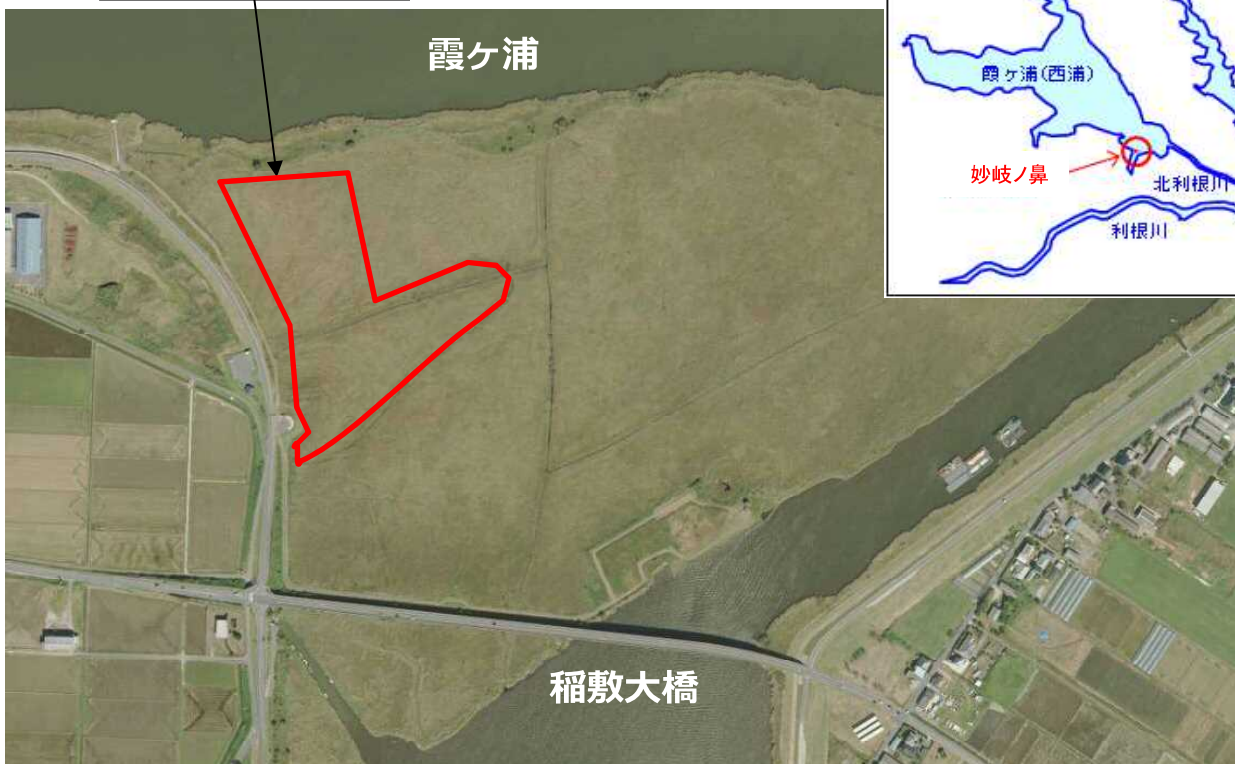
国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所
独立行政法人 水資源機構 利根川下流総合管理所

「妙岐ノ鼻」(稲敷市浮島地区・稲敷大橋下)の一部分のヨシ焼きを、以下のとおり実施します。
ヨシ焼きは、妙岐ノ鼻のヨシをはじめとした貴重な植物の保全等を目的に一部分だけ行うものです。
消防署及び関係機関の協力を得て安全確保に努めて実施しますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

また、ヨシ焼き当日は 火災とお間違いのないようにご注意願います。

- 実施日時： 令和2年2月29日(土) 午前9時から午前12時
※荒天時等の場合は、3月1日(日)・7日(土)に順延します。
- ヨシ焼面積： 約 5.0 ha (妙岐ノ鼻全体面積 52 haの約 10%)
- 実施目的： 貴重な湿地環境と伝統文化の保全
- 主催： 国土交通省関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所
独立行政法人 水資源機構 利根川下流総合管理所
- 協力： 稲敷市
稲敷市浮島財産区管理会
茨城県県民生活環境部自然環境課生物多様性センター
茨城県霞ヶ浦環境科学センター
ミュージアムパーク茨城県自然博物館
国立環境研究所気候変動適応センター
東邦大学理学部生命圏環境科学科保全生態学研究室
日本茅葺き文化協会

ヨシ焼き予定箇所



ヨシ焼きの範囲等

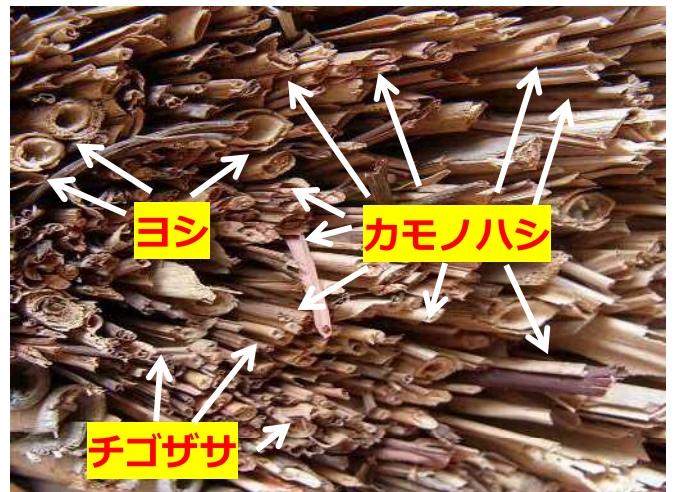


昨年（平成31年3月3日）のヨシ焼き状況



「妙岐ノ鼻」の茅はブランド品

- 日本三名園「偕楽園」好文亭の茅葺き屋根の葺き替え材料（カモノハシを主体とした「しまがや」）



(写真提供： 国立環境研究所 西廣主任研究員)